

輝け！シン尾花沢中

第35号

令和8年

5月21日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

学校運営協議会委員の方がみた運動会に臨む尾中生の姿②

今号も、学校運営協議会委員の方々からいただいた「運動会に臨む尾中生の姿を見て感じたこと」「シン尾花沢中に期待すること」についての感想を紹介します。

竹埜 恵美委員：校内に入っすぐ、きちんと挨拶を返してくれました。すれ違う際にも、皆さんが挨拶を返してくださって、気持ちよい気分になりました。笑顔の素敵な生徒さんたちでした。

児玉 拓也委員：1ヶ月ぶりに中学生の活躍を見ましたが、皆が生き生きとした表情で楽しそうでした。驚いたことは、運動会の応援練習でほとんど先生方が指示しなくても、リーダーが積極的に全体を引っ張っていたことです。リーダーの指示に協力しようとするフォロワーの姿も大変立派でした。先生方も、軍の色のシャツを着て生徒を盛り上げようとしていて、改めて尾花沢中学校は最高だな、と思いました。

加藤 広美委員：尾中の生徒を初めて参観させていただきました。運動会の練習の様子でしたがとても大人だな、と感じました。運動会幹部の生徒たちの指導力のおかげか、きびきびとした統制力を感じ、感心したところです。学年関係なくクラスごとの縦割りも「橙軍」「黒軍」「青軍」と発想の斬新さに驚きました。上手にできたときはほめ合う姿勢もよかったです。運営協議会委員として、学校。生徒たちと一緒に向上していけたら、と思います。

渡會 幸司委員：運動会の応援練習を見させていただきました。生徒の皆さんの一生懸命に取り組む姿に、とてもうれしい気持ちになりましたし、ワクワクしました。ともに笑顔がいっぱいの尾花沢をつくっていったら、と思います。



阿部 秀人委員：生徒一人ひとりを見て…とはいうものの、つい我が子に目がいきましたが、伸び伸びとチームメンバーと協力する姿が学校の整えた環境だ、と感じています。尾花沢中学校の生徒を見て、上級生の目線が、しっかりと下級生の目線にあると感じました。これからの尾花沢中学校には、多様な生徒一人ひとりに寄り添った学びを期待しています。

石塚 清委員：運動会練習を見学し、リーダーを中心に生徒が生き生きと活動しており、明るい未来を感じました。部活動での対外試合での安全な移動手段について配慮してもらいたい。

高橋 里美委員：中学生は、1日の時間のほとんどを学校で過ごしています。ですので、学校で起こることで、毎日が楽しかったり辛かったり、と決まってしまうように感じるかもしれません。でも、子どもは学校ばかりでは育たないと思います。家庭や地域が皆で力を合わせて子育てしていきたいと思っています。その方法をい皆で学ぶ機会を設けたいと考えていますので、ぜひ参加いただきたいと思っています。

委員の方々にはたくさんのお褒めの言葉をいただきました。尾中生には自分たちの言動に自信をもって、普段を磨いていってほしいと思います。

【文責：校長 工藤雅史】